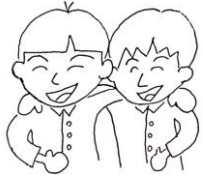


キーワードは「主体的」！ 研究だより



互見授業

グループA

発行者 小池 裕己

授業のあとで、「あ～おもしろかった！」と生徒がつぶやく授業

可能性とは

藍澤先生の 「こんな授業 をしたい！」

できれば頭フル回転の討論

☆互見授業の視点☆

- ・生徒に自分で選択させる
- ・振り返りのさせ方

CHECK!

日時：7月14日（火）6限 3-1 国語

単元：俳句の可能性

授業の流れ：① 大賞の俳句を選ぶ

架空企画「白新俳句大会」の選考委員として、大賞の俳句を選び、選んだ俳句の下にネームプレートをつけています。さらに俳句ごとに選んだ理由をどんどん発表していきます。

② その他様々な俳句を鑑賞（する中で、知識や視点を獲得）

教科書等の俳句について、「明るい感じ？暗い感じ？」「どんな言葉と組み合わせると明るくなる？暗くなる？」「作者はどんな状況？」「作者はどんな人？」そんな問いに答え、鑑賞しながらも、「季語」「有希定型」「自由律俳句」等の俳句の知識や鑑賞の視点を獲得していきます。

③ （知識・視点を獲得したところで…）再度大賞の俳句を選ぶ

同じ俳句でも視点を変わると今までとは違う感じがしたり、今までは何とも思わなかった俳句が魅力的に感じたりすることに気付き、同じ俳句を選んだ人同士でいきいきと意見交換をしています。



☆参観者の付箋より☆(今回は青付箋のみでした!!)

☆授業のテンポ

- ★授業にテンポがあり、生徒たちがどんどん先生のペースに乗っかっていくのが分かる
- ★テンポよく授業が進み、次々と課題が出されることで、生徒たちが常に思考している

☆生徒に意見を持たせる手立て

- ★生徒たちに考えさせたいことを明確に指示している
- ★詳しい説明をするよりも、短い問いを繰り返し問い、近くの人と考えることで、全員が考えられる授業になっている
- ◎(本時においてではなく、授業準備として…)授業の構成の仕方と合わせて、どこでどんな教材を提示し、どこでどんな言葉で話すのかを明確にしている

☆生徒に意見を表明させる手立て

- ★生徒が間違いを恐れず、安心できる声掛け



藍澤先生の言葉集



「直感でいいですよ」「なんとなくでいいですよ」「迷っていいですよ」
「考えが変わることが大切」「考えが変わらなくても理由が増えればいいですよ」 などなど…

- ★どんどん答えさせることで、活発に発言しやすい雰囲気がある



藍澤先生の意見表明のさせ方



「黒板にネームプレートを貼らせる」「日にちの名簿の人のいる列全員にインタビュー形式で聞く」「挙手して指名ではなく、『話せる人話して〜』でどんどん自分たちから言わせる」
「一度全員を立たせ、意見が一緒だった人は座らせる」「ノートに書かせて持ってこさせ、読み上げる」 などなど…

☆生徒の考えを深める手立て

- ★各問いに理由や根拠を述べさせている(その際に、漠然と「なぜそう思う?」ではなく、「どの言葉から?」と視点を定める問いかけをしている)
- ★授業の組み立てとして、最初は直感で俳句を選ばせていたものが、俳句の様々な表現(新しい見方)を感じ取らせて獲得させ、もう一度選ばせるという、「考えの変容」を促すおもしろいものだった
- ★「考えの変容」への価値付けは、相手の考えを受け入れようとする姿勢が育つと感じた

その他にも参考にしたい手立て満載のいきいきした素敵な授業でした!!!

藍澤先生ありがとうございました!!!